

市議会だより

大月市

令和7年5月31日発行 No.178

これは ネギ？タマネギ？

答えは裏表紙を

CONTENTS

- ・ 令和7年第1回（3月）市議会定例会
（主な議案の内容）…………… P. 2～
- ・ 予算審査特別委員会 …………… P. 4～
- ・ 議決結果等 一覧表 …………… P. 6～
- ・ 代表質問／一般質問 …………… P. 8～
- ・ 議員研修会 …………… P. 15
- ・ 議会日誌 …………… P. 16

こんな事が決まりました

2月26日～3月21日（24日間）

今定例会の議案



● 報告	2件
● 条例案件	11件
● 当初予算案件	8件
● 補正予算案件	6件
● その他の案件	1件
● 人事案件	8件
● 議会提出	
● 請願	1件
● 意見書案	1件

市長提出

主な議案の内容

条例

◎大月市児童生徒の安心安全確保に関する条例中改正の件

登下校にデマンドタクシーを活用

・令和7年度から梁川地区で児童生徒の登下校にデマンドタクシーを活用します。

◎大月市子ども家庭総合支援センター条例廃止の件

・廃止後は新産婦及び乳幼児の健康の保持・増進・子どもとその家庭の福祉に関する包括的な支援を切れ目

なく提供するため、新たに「大月市子ども家庭センター」が設置されました。

予算（当初）

◎令和七年度大月市一般会計予算・特別会計予算・事業会計

・予算審査特別委員会のページをご覧ください。

歳入

○新しい地方経済・生活還流創成交付金（地域防災緊急整備型）

3、435千円

歳出

○災害対策事業

6、125千円

・発電機、避難所の備品、ラップ式トイレ等を整備します。



ラップ式トイレ 組み立て

その他

◎市道の路線認定の件

・老朽化している初狩地内富士見沢橋の架替事業に伴い、工事用進入路を兼ねて設置する道路（側子藤沢線）を市道として認定しました。

延長110m
幅員8・5m

人事

◎大月市教育委員会教育長の任命について同意を求める件

・宇野誠教育長の任命に同意。

請願

◎「再審法改正を求める意見書」採択の請願

・趣旨を認め全会一致で採択とし、意見書を関係省庁に送付する事としました。

常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

の階級が退職金計算の基準になります。

大月市消防団員の退職金について
(消防本部)

Q 大月市消防団員の退職金計算区分に、部長及び班長があるが、部長を終えて団員に戻る場合などの退職金計算方法は。



除雪機の設置について

(建設課)

Q 除雪機を設置している場所は。

A 大月市がリースし、世帯数が多く除雪の緊急性がありますので、小沢殿上線(桂台)に配備しております。

Q 部長を辞めて退職金を受け取り、また分団長などに任命された場合は。

A 一旦リセットされて、再入団した時の最高位

●社会文教常任委員会

初狩地区子育て応援施設整備事業設計の見直しについて
(子育て健康課)

Q 当初の計画が変更とのことだが、改めて地区に説明すべきではないか。

A 昨年地区において説明会を実施しました。詳細は未定ですが、改めて地区の代表者の方に説明の上、住民の方に説明会を開きたいと考えております。

Q 当初の設計規模と面積では費用が想定を上回る事が変更の大きな原因と考えるが、物価高騰分の割合をどの程度つかんでいるか。

A 定員の見直しと面積を再検討し、保育所と学童クラブの合築も選択肢に入れながら、公立としての目的が損なわ

れないようなスリムな設計を組んでいきたいと考えております。

新笹子トンネル工事にかかる残土搬入について

(学校教育課)

Q 宮谷地区における児童生徒の登下校の現状は。

A 帰宅の便につきまして、市内のタクシース会社とお子さんを乗せていくための契約を結ぶことができましたので、市道行原線の細く狭いところは歩かないことになっております。

児童生徒の登下校に活用するデマンドタクシーについて
(学校教育課)

Q 方法によって交付税措置への影響も考えられるが、財源はどうなるのか。

A スクールバスや路線バスの兼ね合いもあるので、公共交通を所管す

る企画財政課とも常に連絡を取りながら、一番いい方法を検討していきたいと思っております。

Q 運用する場合の台数や乗車人数等の目算はあるか。これから検討していくのか。

A 学童クラブを利用するお子さんも多く、朝と帰りで乗車人数も異なりますので、車両の検討も含め学校と調整を行ってまいります。



令和7年度当初予算を可決



委員長

やまだ まさふみ
山田 政文



副委員長

あまの さとる
天野 肇

令和7年度予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

令和7年第1回（3月）市議会定例会、開会日に、委員12人で構成する令和7年度予算審査特別委員会が設置され、本委員会に議案第12号「令和7年度大月市一般会計予算」から議案第19号「令和7年度大月市下水道事業会計予算」まで、

8件の予算案件が付託されました。付託されました、8案件を審査するため、3月14日、17日、18日の3日間、委員会を開催いたしました。

予算全体の概要並びに各課別の予算内容について、

教育長及び部長等出席のもと、担当課長等から説明を受け、慎重審査を行い、採決を行った結果、議案第13号「令和7年度大月市大月短期大学特別会計予算」から議案第19号「令和7年度大月市下水道事業会計予算」までの7会計については、

全会一致で、議案第12号「令和7年度大月市一般会計予算」については、賛成多数で、

いずれも可決すべきものと決しました。

予算審査の過程におきましては、各委員から多くの意見等が出されました。そのうち、主なものを5点ほど申し上げます。

1点目は、消防団員の処遇改善についてであります。消防団員の年額報酬・出勤報酬について、段階的な引き上げを行っていくこととしておりますが、国が示す基準に少しでも早く達するように要望します。

2点目は、市民の利便性向上についてであります。財政運営は厳しさを増すことが見込まれる中、DX推進により、職員の業務負担の軽減を図るとともに、市民の視点に立った、市民の利便性の向上を要望します。

3点目は、新庁舎建設についてであります。庁舎建設に対する議論が交わされ、さまざまな意見が出されましたが、本委員会では、今後においては、議会への情報提供や意見交換する場を設けるなどし、事業の遂行に努めることを強く求めます。

4点目は、公共施設の管理についてであります。公共施設等総合管理計画を策定しておりますが、インフラを含めた公共施設については、現状の財政に合わせた見通しをもって、個々の施設の維持管理に努めるように要望します。

最後に、大月短期大学についてであります。新年度も入学生の定員割れが見込まれる中、審議会において存続や発展活性化など早急に今後の方針の検討を進めるように要望します。

令和7年度 大月市一般会計予算に対する討論

◆反対討論（要旨）

藤本 実 議員

私は新庁舎建設に賛成ですが、だからと言って、予算がすべてOKとはいきません。増える基金を、市民サービス充実のために、もっと積極的に活用すべきです。あくまで結果的に、予算を慎重に扱う市長や職員の努力によつて短期間に基金は倍になりました。予算を残すことが「良」とされ、弊害が生まれていませんか。

◆賛成討論（要旨）

天野 肇 議員

本予算案は、財政が大変苦しい中でも市民生活の向上と持続可能なまちづくりを進めるため、給食費無償化や消防団員報酬増額、図書館WiFi整備など重要な施策が盛り込まれております。もちろん、課題が全くないわけではありませんが、それらについては今後の施策や補正予算等の中で、引き続き議論を深めていくことが必要です。

主な予算の使い道が決まりました



【事業名】学校給食経理事業

【事業費】7,887万1千円

【内 容】令和6年度から中学3年生に限り学校給食費の無償化を実施してきたが令和7年度より全学年の給食費を無償化し、保護者の負担軽減を図る。

※全学年の給食費を無償化する経費
6,458万4千円



【事業名】定住促進事業

【事業費】2,112万7千円

【内 容】本市への定住促進を図るため、新築住宅取得や、新婚世帯・転入子育て世帯への家賃等に対して助成を行う。

※若年世代に重点配分する内容に改定



【事業名】新庁舎建設事業

【事業費】4億3,560万5千円

【内 容】庁舎の老朽化及び耐震性能の不足により、安心安全な庁舎機能の確保が急務となっていることから、大月市新庁舎整備基本計画に基づき現本庁舎敷地を拡張するための用地取得・補償事務費等に係る経費を計上し、市民サービスや防災対策の拠点となる新庁舎建設事業を推進する。



【事業名】市立図書館運営事業

【事業費】93万円

【内 容】施設サービスの充実と利用者の利便性向上を目的としてWi-Fi環境を整備する。データ通信量を気にせずスマートフォンやタブレット端末等が使えるようになることで、より快適な環境での学習が可能となる。



【事業名】図書館運営事業（WEBサイト構築業務）

【事業費】288万円

【内 容】大月短期大学の運営の充実、大学の特色である高い就職実績や4年生大学への編入実績などを、主に学生が見やすくなるように、スマートフォン対応等のホームページリニューアルを行う。



【事業名】空家等対策事業

【事業費】180万円

【内 容】大月市空き家解体に伴う跡地活用事業補助金を開始。

- ・補助率
解体費の1/2以内
- ・補助金
居住誘導及び準備区域内 上限50万円
その他の区域内 上限10万円
他



【事業名】道の駅調査研究事業

【事業費】560万円

【内 容】・地域人材ネット（地域力創造アドバイザー）制度の活用（総務省）

・地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招へいし、指導・助言を受けながら調査研究を進める。



【事業名】猿橋駅周辺基盤整備事業

【事業費】1,388万円

【内 容】大月市立地適正化計画の方針に基づき、サブ拠点である猿橋駅周辺の基盤整備により住環境の向上を図り魅力あるまちづくりを推進する。

- ・北口駅前広場補償調査業委託
- ・エレベーター改修設計
- ・公衆トイレ改修工事



【事業名】学校ICT整備事業

【事業費】1億1,357万2千円

【内 容】高速大容量の通信ネットワーク整備、教職員が利用するインターネット接続、セキュリティ対策、校務支援システム等の各種ICT環境を整備し、児童の個別最適化された教育を実現する。

- ・令和7年度には児童生徒1人1台端末を更新

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 ● 退席 — ※相馬力 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩	奥	小	山	藤	山	鈴	棚	山	鈴	鈴	天	結 果
			原 剛	脇 一 夫	原 丈 司	田 善 一	本 実	田 政 文	木 基 方	本 晃 行	地 渉	木 康 揮	木 竜 児	野 築	
報告	専決第 1 号	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	専決第 2 号	令和 6 年度 大月市一般会計補正予算（第 7 号）													
条例	第 1 号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件													可決
	第 2 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件													
	第 3 号	大月市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件													
	第 4 号	大月市職員給与条例中改正の件													
	第 5 号	大月市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件													
	第 6 号	大月市児童生徒の安心安全確保に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 7 号	大月市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件													
	第 8 号	大月市児童館条例中改正の件													
	第 9 号	大月市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中改正の件													
	第 10 号	大月市消防団員等公務災害補償条例中改正の件													
	第 11 号	大月市子ども家庭総合支援センター条例廃止の件													
当初 予算	第 12 号	令和 7 年度 大月市一般会計予算	●	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	可決
	第 13 号	令和 7 年度 大月市大月短期大学特別会計予算													可決
	第 14 号	令和 7 年度 大月市国民健康保険特別会計予算													
	第 15 号	令和 7 年度 大月市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 16 号	令和 7 年度 大月市介護サービス特別会計予算													
	第 17 号	令和 7 年度 大月市後期高齢者医療特別会計予算													

令和7年3月定例会

賛成○ 反対● 退席― ※相馬力 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩	奥	小	山	藤	山	鈴	棚	山	鈴	鈴	天	結 果
			原	脇	原	田	本	田	木	本	地	木	木	野	
			剛	夫	文	善	実	政	基	晃	渉	康	竜	築	
当初 予算	第 18 号	令和7年度 大月市簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 19 号	令和7年度 大月市下水道事業会計予算													
補正 予算	第 20 号	令和6年度 大月市一般会計補正予算（第8号）													可決
	第 21 号	令和6年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）													
	第 22 号	令和6年度 大月市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 23 号	令和6年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）													
	第 24 号	令和6年度 大月市簡易水道事業会計補正予算（第4号）													
	第 25 号	令和6年度 大月市下水道事業会計補正予算（第3号）													
その他	第 26 号	市道の路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	第 27 号	大月市教育委員会教育長の任命について同意を求める件													同意
	第 28 号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 29 号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件													
	第 30 号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件													
	第 31 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件													適任
	第 32 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 33 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件													
	第 34 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件													
請願	第 1 号	「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	第 1 号	再審法改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



市政を問う



市議会のページは
こちらから



大月市議会
YouTube
チャンネルは
こちらから

3月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 山田善一 議員 (自由民主党) 9 ページ

- ①土地を求めて庁舎整備をする理由と新築の場合の懸念事項は
- ②人口減少の中で大月短期大学は存続できるのか

(2) 山地 渉 議員 (大月の新しい風) 10 ページ

- ①公共施設の維持管理に必要な費用の過去と今後を問う

(3) 奥脇一夫 議員 (山と川の街大月) 11 ページ

- ①新庁舎整備予算の内容と供用開始までのスケジュールは
- ②大月駅周辺の整備方針は

一般質問

(4) 藤本 実 議員 (日本共産党 所属) 12 ページ

- ①市民サービス充実の財源は十分あるのでは
- ②「人の役に立つ市役所」の進捗は

(5) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) 13 ページ

- ①支援給付金交付申請手続きの一本化について伺う
- ②イベント時の協力体制について伺う

(6) 鈴木基方 議員 (自由民主党) 14 ページ

- ①桂川ウェルネスパーク付近へスマートインター・道の駅整備を

(7) 天野 築 議員 (大月の新しい風) 15 ページ

- ①市民が明るい未来を想像できる具体的な庁舎建設イメージは

(8) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) 16 ページ

- ①市公式 LINE の機能拡充と利用者目線で手続きの見直しを
- ②学童クラブの待機児童解消に向けての取組みは

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。

詳しい内容については、会議録（6月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページで閲覧することができます。また、大月市議会 YouTube チャンネルで映像配信も行っております。



自由民主党

やまだ よしかず
山田 善一

Q 土地を求めて庁舎整備をする理由と新築の場合の懸念事項は

A 将来を見据えた土地の確保をするもので、供用開始時期の遅れを懸念

問 新規に土地を求めて庁舎を整備しなければならぬ理由と、新築する場合に懸念される事項について伺う。

答 市長

これまでに実施した市民

アンケート等においては、防災機能の充実や市民が利用しやすい便利な庁舎が求められ、十分な広さと利便性のよい駐車場の確保を希望する声が多く寄せられました。

また、モデルプランの比較検討においては、仮設庁

舎の整備や引っ越しに多額の費用を要することから、これらに対応するため、現本庁舎周辺の民有地を取得させていただくことにより、市民の利便性が格段に向上するとともに、将来の機能集約や再配置にも備えられる整った敷地を確保することとしたものであります。

新築にあたり懸念される事項としては、労務単価や建設資材等の上昇による建設費の高騰や、人手不足などを要因とする入札の不調、不落による供用開始時期の遅れが挙げられますが、今後の基本設計において工法構造、設備等を十分に精査し、コスト意識と創意工夫をもって最善の計画を検討してまいります。



大月市役所現庁舎

Q 人口減少の中で大月短期大学は存続できるのか

A 審議会を設置など情勢を見極めながら存続に向けて検討する

問

全国的に人口減少が進み、本市でも出生数が減少している。令和7年度の大月短期大学への入学人数も定員を割っているかと思うが、このまま人口減少が続くと、大月短期大学の存続が危惧される。人口減少が進む中、大月短期大学は存続できるのか、市の見解を伺う。

答 市長

18歳人口は昭和41年をピークに大幅に減少しており、さらには、社会経済情勢の変化による4年制大学への進学志向の高まり、短期大学数の減少など、短期大学を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。

現実として、令和4年度の入学生から200人の定員を確保することができない状況が3年続いており、令和7年度入学生においても大きく定員を割る見込みとなっております。

そこで、令和7年度に大月市立大月短期大学基本問題審議会を設置し、大月短期大学の存続や発展、活性化について審議を開始したいと考えております。

定員割れが続く非常に厳しい状況にはありますが、大月短期大学の火を消すことは、これからの地方創生、地域活性化などにも大きな影響を与えるものと考えておりますので、様々な情勢を見極めながら、大月短期大学の存続に向けて検討してまいります。



大月の新しい風

やまじ わたる
山地 渉

Q 公共施設の維持管理に必要な費用の過去と今後を問う

A 建物施設の維持管理・更新に係る経費の実績額が年平均で約5億6千万円

問

大月の防災拠点など、地域住民に重要な施設は、施設の連携、集約化、複合化、用途転用、閉鎖などが必要になってくる。大月の189の公共施設の維持管理に必要な費用

答 総務管理課長

大月市公共施設等総合管理計画では、平成23年度から令和2年度までの過去10

の過去と今後について問う。

年間の建物施設の維持管理・更新に係る経費の実績額が、年平均で約5億6千万円となっております。同様に、インフラ施設の実績額は、年平均で約2億1千万円となっております。これらの経費は過去実績からの推定値となりますが、昨今の社会情勢や物価上昇などにより、年々増加していくことが予想されるため、その増加を抑制するよう努めてまいります。

再質問

問

建物施設は長寿命化対策等を実施し、インフラ施設の更新費用を合わせると、今後40年間で937億1千万円必要、1年当たり23億4千万円が必要という試算が出ており、昨今の社会情勢や物価上昇などにより、年々増加していくことが予想されると答弁をいただいておりますが、公共施設

設の維持管理はどのように行われるのか伺う。

答 総務管理課長

公共施設を適正に維持管理するため、施設点検を実施すること、中長期的に維持管理コストの平準化を図りながら経費を縮減すること、基本的な修繕は点検結果に基づき随時実施し、大規模改修を含めた更新等は、サービスニーズの変化、法令適合性、耐用年数、老朽化の程度に応じて総合的に判断した上で実施することとしております。

また、点検により重大な損傷や欠陥を発見した場合は、速やかに安全確保の措置を講じ、必要に応じて施設の供用の有無なども含めた検討を実施すること、日常点検や定期点検などから不具合が軽微な段階で対処する予防保全型管理を推進した施設の長寿命化を実施すること、さらに建物施設は提供する公共サービスと

施設の両面を評価し、総量の適正化に取り組むこととしております。

梁川出張所



その他の質問

問 災害時に備えた市の準備体制について

問 生涯教育の推進について



山と川の街大月

おくわき かずお
奥脇 一夫

Q 新庁舎整備予算の内容と 供用開始までのスケジュー ルは

A 過度な財政負担とならな いよう配慮し令和11年度 末の全面供用開始を目標

問 市役所は災害時の拠
点でもあり、有事の際
も機能を失うことなく、
市民の生命、財産を守
れるよう整備すること
が、未来の大月のため
にしなければならな
い使命であり、義務だ
とも感じるが、整備に

大きな財政負担が伴う
ことから、身の丈に合
った整備を進めること
を強く希望する。
そこで、新年度予算
の詳細な内容と、供用
開始までのスケジュー
ルについて伺う。

答 市長

令和7年度当初予算の内
容につきましては、土地の
購入費及び建物等の移転に
要する補償金などを計上し、
事業の推進に当たっては、
将来世代に過度な負担とな
らないよう配慮するととも
に、適正な執行に努めてま
いります。庁舎の老朽化が
進み、本庁舎本館は耐震基
準を満たしておらず、倒壊
の危険があると指摘を受け
ていることから、利用者の
安全確保が急務であると認
識しております。

スケジュールにつきましては
では、令和7年1月23日山
梨県知事より事業認定の告
示がなされましたので、速
やかに税務署への事前協議
を済ませ、地権者の皆様へ
補償説明を開始したいと考
えており、用地取得業務と
並行して、設計業務の発注
に向けた準備を進め、基本
設計、実施設計後速やかに
建設工事に着手し、令和11
年度末の全面供用開始を目
標として考えております。

Q 大月駅周辺の整備方 針は

A 大月市立地適正化計
画に基づき整備をす
める

問

大月市は交通の要衝
であり、特に特急が止
まる大月駅は、都内へ
の通勤圏内であり有力
な移住定住の要素であ
る。

人口増加には、新た
な産業の創出と並んで、
大月駅周辺に優良な住
宅を提供し都内への流
出をとどめ、市外から
呼び込むような住宅政
策が必要と考えるが、
市の見解を伺う。

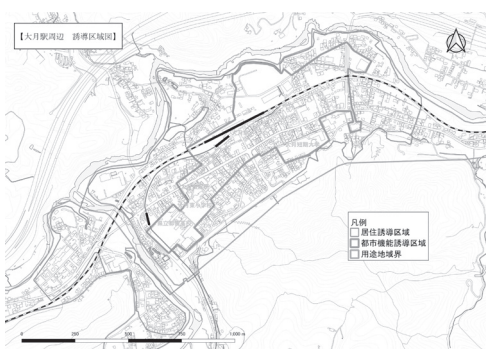
答

まちづくり創生課長

大月駅周辺につきまして
は、大月市立地適正化計画
で整備方針を策定しており
ます。本計画では、駅北側
地区において住居系機能の
整備、商業施設等の整備を
進めることとしており、こ

れまでも民間事業者による
開発等の問合せがありまし
たが、進入路が狭いなどの
ことから実施に至らず、現
在は北側空地につながる
道路拡幅整備を実施してお
ります。

また、北側のみならず、
大月駅周辺の居住誘導区域
には新規に建築が可能な住
宅用地が少ないため、定住
対策を進めるに当たり、引
き続き議員が提案するよう
な民間事業者による住宅開
発等の計画には積極的に市
として支援し、推進してま
いりたいと考えております。



大月駅周辺 誘導区域図

(出典…大月市立地適正化計画)



ふじもと みのる
藤本 実

日本共産党 所属

Q 市民サービス充実の財源は十分あるのでは

A 今後も積立てができるよう努めてまいりたい

問

令和6年度当初予算では、例年の2倍の10億円の基金を取り崩し、財政の厳しさが強調されたが、12月末時点の決算見込みでは2億円基金が増えることになった。基金残高増の推移から市民サービス充実の財源は十分あるのではと考えるが市の考えを伺う。

答

企画財政課長

当初予算編成では、歳入については確実に見込まれる予算を計上します。一方で、歳出についてはある程度余裕を持った計上を行います。理由は、予算不足となれば備品の購入ができない、契約行為ができないなど、事業の執行ができなくなるおそれがあるためです。本年度につきましては、主

に地方交付税や寄附金が増額したことに加え、繰越金等による財源が生じたことから、年度の途中で補正予算編成を行い基金の積み戻しができたものであり、結果として最終的に基金が増えたということです。

財政調整基金は標準財政規模の20%を1つの目標と考えており、今後も積立てができるよう努めてまいりたいと考えております。また、公共施設整備基金につきましては、一部を新庁舎建設に充当する予定としておりますので、その後に控えております事業に影響がないよう可能な範囲で積み立てていくものと考えております。

Q 「人の役に立つ市役所」の進捗は

A 効率的な業務遂行で行政サービスの質も向上させる

問

小林市長が2期目を目指す時、人の役に立

つ市役所をつくると強調したが、日常業務の改善なしには市民目線の行政サービスは実現できない。AIのリスクリングセミナーと日常業務効率化の実証実験を行うべきでは。

答

総務部長

AIの技術は急速に進化しており、AIを活用して新たに価値を生み出す能力が求められております。AI技術を理解し活用できる人材は重要ですので、職員が最新の技術を習得し業務遂行に行かせるよう支援し、実務効率化の実証実験についても検討してまいります。

再質問

問

人の役に立つ市役所づくりへの市長自身の考えは。

答

市長

私の「人の役に立つ市役

所」とは、市民の意見に寄り添い、耳を傾け、そのニーズに対し明確な目標を設定し、市民満足度の向上を目指し、成果を上げること、そして市民の皆様からありがとうという感謝される市役所だと考えます。

これら役に立つ市役所とするためには、現場に当たる市職員のスキルアップと職場環境の改善も必要だと考えています。そして、これらを推進するために、私が目標とする財政健全化も同時に進めており、ふるさと納税の増額、企業版ふるさと納税の獲得などの歳入増加、将来に備えた基金の増額など、適切な財政の健全化に向けて着実に進んできていると考えております。



おくやみコーナーを設置



すずき こうき
鈴木 康揮

公明党 所属

Q 支援給付金交付申請手続きの一本化について伺う

A より迅速な給付が図られる仕組みづくりを検討

問

非課税世帯支援給付金の交付申請手続きの一本化について、給付金対象者の世帯の件数、給付金手続の方法、社会福祉協議会と市役所の庁舎の往復をしないで済むような生活弱者に配慮した手続が可能か、3点について伺う。

答

福祉介護課長

この事業は、生活困窮世帯の経済的負担の軽減のため、灯油助成券2枚を配布したもので、山梨県が市町村の社会福祉協議会に委託して行った事業です。給付対象となる非課税世帯は2、296世帯と把握しており、社会福祉協議会において手続を行った世帯は556世

帯と伺っております。手続きについては、世帯全員の非課税証明書の提出を求めている、この交付の手続と提出先が社会福祉協議会であったため、市役所と社会福祉協議会の間の交通手段を確保することが難しい方がいたことは伺っておりますので、寄せられた意見や要望を県に伝え、改善につなげるように働きかけてまいります。

申請窓口



Q イベント時の協力体制について伺う

A 各所に協力いただきながらも配慮も必要

問

市内で開催されるイベントでの過去の参加者を把握しているか。また、市内で開催されるイベントでのAEDの設置箇所やトイレ等、緊急時の市内店舗や事業所での協力体制について伺う。

答 産業観光課長

大月市内において最大のイベントは、毎年8月に開催されるかがり火市民祭りです。平均3万3,000人の方にお越しいただいております。市内にはほかにもイベント等がありますが、参加者数は正式に把握されておりません。

イベント時の協力体制について、かがり火市民祭りでは、不測の事態に備え、大月市消防本部の協力によ

り救護本部を開設、街道本部には大月市立中央病院より派遣していただいた看護師及び本市の保健師を配置し各本部にAEDも備えております。

またトイレにつきましては、まつり広場及び街道に仮設トイレを設置し、そのほか市役所庁舎や大月駅前のトイレを使用しております。

かがり火市民祭りは、市民総参加のお祭りです。大月商店街協同組合の方々も運営に携わっていただいております。周辺店舗のトイレを活用することにつきましては、衛生面や防犯面に配慮する必要があります。

AEDやトイレの設置については、今後実行委員会等の意見を踏まえた上で、必要に応じて対応をしていきたいと考えております。



自由民主党

すずき もとかた
鈴木 基方

Q 桂川ウェルネスパーク付近へスマートインター・道の駅整備を

A 様々な要素から総合的に検討する必要がある

問 富士山噴火ハザードマップにおいて、溶岩流が到達する可能性が低い桂川ウェルネスパーク付近へのスマートインターの整備と、複合的效果も見越した道の駅整備は、災害時の防災拠点の確立、長期孤立を回避し二次災害発生を軽減するために

も重要で、広域的な連携においても効果が期待される。そこで、道の駅と農業振興に関し、安定的な地場産品の確保と民間企業と連携した商品開発について、防災等の複合的機能と集客について、道の駅整備の庁内体制について、複

合的效果を見越した道の駅整備で集客が見込める場所について、大月タマネギからスタートした石井食品の「地域と旬」の取組を本市でどのように発展させて行くべきと考えるかについて伺う。

答 産業建設部長

てまいります。今後、道の駅の整備、運営方針などを決定していく際には、関係部署との連携は必要不可欠であると考えております。連携の在り方については、ワーキングチームを含め、円滑に連携できる体制を検討してまいります。

安定的な地場産品として大月産タマネギを持続していくためには、さらなる加工品の開発と新たな販路として青果市場や食品会社等を開拓し、販路拡大を図っていきたいと考えております。また、タマネギ本体の品質向上も必要と捉え、山梨県農政部と連携した技術講習も拡充してまいります。

集客できる場所については、国道やインターチェンジなどの幹線道路沿い、名所や公園など人が集まる施設の周辺、眺望がよい場所、災害時の拠点となり得る場所、用地取得などの事業コストなど様々な要素から総合的に検討する必要があると考えております。

令和7年度には総務省のアドバイザー制度を活用し、道の駅運営などの経験を有する嶋田俊平氏を招聘し、防災をはじめ、どのような機能を有する道の駅とするのかなどアドバイスをいただきながら調査研究を進め

大月産タマネギが大月市の旬の野菜として定着してきており、それをさらに持続、拡大していきたい、大月の軸となることを市としても期待しております。しかし、全国的に農業従事者の担い手確保が課題となっており、本市のタマネギ栽培も担い手確保が急務となっております。タマネギ栽培を持続させるためには、農業所得

の向上を目的としたタマネギ栽培の裏作が可能なのかの野菜との二毛作を確立することが重要と考えております。

また、担い手確保に向けた取組につきましては、農業協力隊の活用、地域の農業未経験者や若者を巻き込んだ地元生産者とのつながりが必要と捉え、体験会等を市が関係者と調整していきたいと考えております。



桂川ウェルネスパーク



大月の新しい風

あまの きずく
天野 築

Q 市民が明るい未来を想像できる具体的な庁舎建設イメージは

A 未来へ紡ぐ地域の拠点となる庁舎と考えている

問

新庁舎建設について、大月市新庁舎整備基本計画を見れば、事業計画や基本理念などが記載されているが、これを見ても新庁舎のイメージが湧いてこない。市長は一体どんな庁舎をイメージしているのか、未来の大月市民にどんな庁舎を残していく

答 市長

基本構想において、現庁舎の課題や上位・関連計画での位置づけや市民アンケートの結果を踏まえ「市民

れるのか、市民が明るい未来を想像できる具体的なイメージについて伺う。

に愛され、ふれあいと活力にあふれる安全・安心・持続可能な新庁舎」を新庁舎整備の基本理念とし、特に私が未来の大月市民に残したい庁舎のイメージとしては、未来へ紡ぐ地域の拠点となる庁舎と考えております。「紡ぐ」という言葉は、

綿や繭の繊維を引き出し、よりをかけて1本の糸をつくることを意味しており、まさに市民一人一人の思いをより合わせ、市民参加の庁舎づくりを目指し、完成した庁舎では市民の皆様や職員が心を通わせ、またその先の未来を共に創造する、そのような場となることを目指していきたいという思いであります。

今後、基本設計を進める中で、詳細な絵を描いていくこととなりますが、将来世代に過度な負担とならないよう、ライフサイクル全体の費用の抑制に配慮しながらも、市民の安全安心を守る災害に強い庁舎であることはもちろんのこと、多様な市民が交流できる利便

性の高い庁舎やにぎわいの創出に貢献し、まちづくりの拠点となる庁舎の実現に向けて今後の計画を着実に進めてまいりたいと考えております。

再質問

問

市長の思いは十分に伝わったが、市長が言う「紡ぐ」を具体化する案について伺う。

答 市長

今の段階で私たちが一番大切にしなければいけないのは市民、議員、そして職員の皆さんの意見というものをしっかりと聞いた上で、それで基本設計に着手していくという順番でいくことこそが、今課せられた課題であると思っています。ここで私の思いの中にあまり具体的な例を入れて、それが独り歩きしていくということについては、あまり好ましい状況であるというふうに思っていますので、

これからの皆さんの意見を聞いた上で進めていくことが必要であると思っています。



大月市役所

その他の質問

問 市制施行70周年記念事業について

問 広報おおつきの利活用について



山と川の街大月

たなもと 棚本
あきゆき 晃行

Q 市公式LINEの機能拡充と利用者目線で手続きの見直しを

A 市民の利便性向上へ機能を随時追加し、手続きの見直しも進めていく

問

市公式LINEの機能を拡充し、来庁予約や申請などに活用することは市民の利便性向上とともに業務の効率化にも有効な取組であると考えており、公式LINEの機能拡充を進めていくべきではないか。また、各種手続

答

特命推進課長

庁内からもオンライン申請などの必要性に関する意

見等が出ており、LINEを活用したサービスの拡充について研究を進め、関係各課と連携しながら市民の利便性向上につながる機能を随時追加したいと考えております。

また、市民の皆様にも役所の手続が便利になったと感じていただくためには、様々な対策が必要であると考えており、窓口等のある申請書等について、見直しや点検などを行う必要があると考えております。

最も重要なのは、市民の皆様の声だと認識しておりますので、分かりやすい説明に努め、利用した感想などをいただきながら便利化市役所を目指してまいります。



大月市公式 LINE アカウント
「二次元コード」

Q 学童クラブの待機児童解消に向けての取組みは
A 施設の確保や受入れ枠の拡充等を検討し対応していく

問

猿橋の学童クラブにおいて高学年で待機児童が発生する状況があると認識している。待機児童の解消に向けてどのように取り組んでいくのか伺う。

答 子育て健康課長

令和7年度の猿橋小学校区の学童クラブひまわりⅠ・Ⅱでは、5年生6年生の高学年を中心に17人の待機をお願している状況であります。施設の確保に向け、小学校の空き教室の活用や近隣の公共施設、民間施設の借用の可能性を検討してまいります。また、夏休み

の利用希望が定員を大きく上回る場合には、一時的な受入れ枠の拡充についても検討し、待機児童の発生を抑えるための対応を講じてまいります。

その他の質問

問 官民連携について

問 公共施設等の維持管理について

主催：議会運営委員会 議員研修会

地域活性化に資するため、「オール大月の地域
ブランドづくりセミナー」を実施しました。

講師：川田 勝也 氏
(S3 BRANDING 代表取締役社長)

デザイン・企画を中心に企業やサービスのブランディングをはじめ、地域産品や地域工芸、農福連携、六次化、さらにスポーツチームのブランディングを多く手がけている。SDGs や地域ブランドづくりのセミナー開催や大学での講師活動を通じ、ソーシャルブランディングの啓発も多数行っている。

参加者：大月市議会議員

・奥脇一夫	・山田善一	・藤本 実
・鈴木基方	・棚本晃行	・山地 渉
・鈴木康揮	・鈴木竜児	・天野 築他



まとめ

新たな意気込みで、オール大月の地域ブランドづくりにとりかかるイメージが沸いてきました。大月市にはまだ見ぬ魅力的な商品があります。地域の課題解決をストーリーにした加工品や、地域の文化や食事を楽しむ旅行プランなど、挑戦する大月市を描けるようにしていきたいですね。

ヨネックス、首里織（注1）、紅型（注2）との連携で伝統工芸スポーツウェア開発。地域の新聞、テレビ、全国メディアへの拡散により、沖縄の伝統工芸を知ってもらい、販売や商品開発に繋がっています。

（注1）首里織（しゅりおり）
首里に伝わるさまざまな紋織や、緋織物を総称するネーミングとして採用された。

（注2）紅型（びんがた）

独自の染技で育まれてきた沖縄の染物の総称。

講演要旨

ブランド価値はこれまで品質とデザインで競い合ってきましたが、今新しい価値が生まれています。それは地域課題解決です。その製品や会社が、環境や地域、生物、人に配慮があるか、地域の活性化に寄与しているか。これが、これから広がる新しい価値です。

SDGs は、国連加盟193カ国が2030年までに達成する行動計画で、「だれひとり取り残

されない世界」「環境保全」「貧困をなくす」が重要なテーマになっています。日本では「地域循環共生圏」として、森里川海の循環、農山漁村と都市の循環など、各地の強みを活かす社会を掲げています。SDGs 的事業の考え方は、「私たちの現実世界は持続不可能な世界であり、これを変革することが重要課題」とするものです。

地域ブランドを磨く際にも、この新しい価値に着目することが重要です。

私が携わった事例を紹介します。元サッカー日本代表の高原直泰氏率いるプロスポーツチームの沖縄での取り組みです。障害者の工賃向上、耕作放棄地の再生、地域特産品PRを地域課題解決に結び、農福×スポーツで耕作放棄地を開墾し、バナナ栽培を始めました。その後、ネスレ、名護市、琉球大と共に耕作放棄地で日本で唯一のコーヒー栽培、さらに沖縄県から依頼があり、沖縄県課題解決＋スポーツにすすみ、

議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

2月（後半）

18日	議員定例懇談会
	議員研修（議会運営委員会）
19日	議会運営委員会
20日	令和7年第1回山梨県後期高齢者医療広域連合議会
26日	全員協議会
	令和7年第1回（3月）市議会定例会 開会
	予算審査特別委員会

3月

6日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
7日	社会文教常任委員会
10日	令和7年第1回東部地域広域市道企業団議会
11日	議会運営委員会
	全員協議会
	代表質問・一般質問
14日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
21日	議会運営委員会
21日	全員協議会
	令和7年第1回（3月）市議会定例会 閉会
	会派代表者会議

4月

15日	議員定例懇談会
16日	第271回山梨県市議会議長会定期総会
17日	第91回関東市議会議長会定期総会
22日	市議会広報委員会

○表紙の写真

ブランド力強化を目指す「大月玉ねぎ」の畑

大月市の旬の野菜としてさらに拡大し大月の軸となることを期待

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

※感染症拡大等の状況により自粛をお願いする場合があります。

6月定例会の日程（予定）

●開会日	5月27日
●代表質問	6月11日
●一般質問	//
●一般質問（予備日）	6月12日
●閉会日	6月18日

※ 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

令和7年度予算も成立し、卒業式、入学式などの行事も行われ、気持ちも新たに新年度を迎えました。令和6年6月定例会より始まった、YouTubeによる代表質問・一般質問の映像配信も2年目に入るところです。市民の皆様におかれましてはぜひともご視聴いただき、より身近に議会を感じ、ご意見等いただければ幸いです。

（担当：鈴木基方）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



市議会
広報委員会

委員長	藤本 実
副委員長	鈴木 基方
委員	山田 善一
委員	山地 渉
委員	鈴木 康揮
委員	天野 築



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。